



2025年度

高校生のための書道講座

主催 安田女子大学 文学部 書道学科

篆書、隸書、楷書、行書、草書のようないろいろな書き方を「書体」と呼び、同じ楷書であっても、同じ意味であるのに（例えば龍門造像記に見られるような）点画の組み合わせ、あるいは文字の形が違っていることを「字体」が違うと言います。実際には長い歴史において使用され工夫を積んでいく中で生じた違いですから、隸書と楷書の中間の書体があったり、字によっては楷・行・草同じ形だったりすることもあります。

本講座では「書体・書法・デザイン」をテーマに楷書と隸書を取り上げ習うとともに、書法とデザインとの密接な関係にも目を向けてみたいと思います。

〔場 所〕 安田女子大学 7号館 3階 7306 書道教室
広島市安佐南区安東 6丁目 13-1 (アストラムライン「安東(ヤスヒガシ) 駅」下車)

〔開講日時〕 8月4日(月) 10:00~15:00

〔内 容〕

午 前	10:00~12:00 (休憩含む) 「顔真卿の楷書」(講師: 谷口邦彦) 顔真卿の楷書は、王羲之風でもなく、北魏風でもなく、馴染みのある初唐の楷書とも異なるので取っ付きにくいかもしれません。後世注目されるのは、忠臣としての顔真卿にあやかりたいという事情があったにせよ、篆意のある独特の筆使いによって豊かな立体感を表現し、実に合理的な書き方だと感心させられます。「明朝体」のもとになったとも言われる顔真卿の楷書書法の魅力を、実技を通して一緒に考えてみましょう。
午 後	13:00~15:00 (休憩含む) 「隸書と意匠」(講師: 井田明宏) 古代中国で生まれた隸書は、その発達過程における複雑な状況が関係したことにより、独特の意匠(デザイン)を持つ固有の書体(スタイル)として認識されるに至りました。波勢、波磔に代表される隸書の意匠は、伝統的かつ斬新さを兼ね備えており、現代でも私たちの暮らしの中に息づいています。本講座では特に後漢時代の隸書を取り上げて、古代中国における隸書の在り方を知るとともに、実技を通して隸書の意匠の魅力を味わいます。

〔参加費〕 無 料

〔受講対象〕 高等学校に在学中の生徒
(これから書道を始めたい人・書道が上手になりたい人・書道に関心のある人)

〔その他〕 半紙・墨・筆等の用具は用意しますが、使いやすい筆などを持参しても構いません。
昼食はご持参いただくか、学内のまほろば食堂・セブンイレブンをご利用ください。

〔申込先〕 高等学校名、学年、氏名(ふりがな)を TEL・FAX またはメールにてお知らせください。
安田女子大学 文学部 書道学科事務室 (佐々木)
TEL・FAX: (082) 878-7725
E-mail: shodo.box@yasuda-u.ac.jp

※午前、午後の方の参加および当日参加も歓迎します。お気軽にお越しください。

本講座は、教育ネットワーク中国の web サイトにあります「大学からのお知らせ」により緊急時のお知らせ(災害時の開講有無等)を確認することができます。

<http://www.enica.jp/>

書道展示室において、
第19回全国高校生<S-1>グランプリの
グランプリ作品を展示しています。
是非、お立ち寄りください。

書道展示室

